

リスクアセスメント実施一覽表 (実施記載例) (製品組立作業)

リスクアセスメント対象職場		①～⑥の実施担当者と実施日		④～⑥の実施担当者と実施日		⑦～⑧の実施担当者と実施日		社長(工場長) 製造部長 製造第○課長		
① 作業名 (機械・設備)	② 危険性又は有害性と発生の おそれのある災害※	③ 既存の災害防止対策	④ リスクの見積り		⑤ リスク低減措置案	⑥ 措置実施後の リスクの見積り		⑦ 対応措置		⑧ 備考
			重 篤 度	発 生 可 能 性 (リ ス ク)		重 篤 度	発 生 可 能 性 (リ ス ク)	措 置 実 施 日	次 年 度 検 討 事 項	
準備作業	不良の玉掛けワイヤロープを使用したためワイヤロープが切れて吊荷が落下し作業者に当たって負傷する。	ワイヤロープの毎月定期点検								
準備作業 または組立作業	吊荷およびクレーン操作に注意が集中しバランスを崩して脚立から転落する。	クレーン操作者を追加する。	×	△	①脚立に手すりを設ける。 ②脚立の使用前点検	×	○	II	●使用用具の基準のルー ル化 ●作業台・足場台による 足場の確保	
準備作業	集積した部品(ユニット)が転倒して、手足を骨折する。	部品の平置き	×	△	①作業場所の確保と整理整頓 ②部品エツクの徹底 ③重ねる、立てる場合には当てものを使用する。	×	○	II	●作業場所の確保 ●部品の小分けを可能 にできる区分け箱の 利用	
準備作業	クレーン操作ミスで荷振れをおこし、共同作業者を負傷させる。	操作スイッチに作動を明示する。	×	△	①操作中は、他の者は吊り荷に近づかない。 ②玉掛訓練の定期実施	×	○	II	●玉掛訓練の実施 ●操作スイッチの定期点 検(コード含む)	
組立作業	部品が滑って落下し、手足を裂傷する。	素手作業と手袋作業の区分	×	△	①部品、工具の油分除去の徹底 ②素手作業範囲の周知 ③ワイヤロープ掛けの禁止部位を決める。	×	○	II	●作業前に注意事項を確認 ●部品を知る勉強会の実 施	
組立作業	焼き嵌め部品に接触し、腕や手指を火傷する。	皮手、軍手の着用	△	△	①耐熱保護具(手袋、カバー)の使用を徹底する。	△	○	I	●作業前の段取り確認	
組立作業	部品(ユニット)の取付けもしくは取り外し時に部品が落下して、手や足を挟まれ負傷する。	部品重量の確認 作業位置、姿勢の相互注意	×	△	①くさび、台木により、落下を想定し保護できるように段取りする。	△	△	II	●共同作業で行なう ●事前に吊り込みをして から作業	
組立作業	レンチやスパナがボルトからはずれ、反動で手を打撲、裂傷する。	工具の油分の除去 無理な作業姿勢の禁止	△	△	①正しい工具の使い方の教育 ②工具の代用を禁止する。	△	○	I	●工具の代用をせず正 しく使うことを繰返し 教育	

災害の重篤度 × = 致命的・重大 △ = 中程度 ○ = 軽度
優先度 III = 直ちに解決すべき又は重大なリスクがある。 II = 速やかにリスク低減措置を講ずる必要があるリスクがある。 I = 必要に応じてリスク低減措置を実施すべきリスクがある。
発生可能性 × = 頻繁・可能性が高いと比較的高い △ = 時々・可能性がある ○ = ほとんどない・可能性がほとんどない
 ※災害に至る経緯として「～」なので、「～+」になる」と記述